



平成 23 年 5 月 20 日

各 位

大阪府中央区北浜一丁目 8 番 16 号
岩井コスモホールディングス株式会社
代表取締役社長 沖津 嘉昭
(コード番号：8707 東証・大証第 1 部)
責任者：取締役総務担当 笹川 貴生
TEL 06 - 4560 - 5800 (代表)

岩井証券株式会社

大阪証券取引所「夜間立会(現在のイング・セッション)」の取引時間延長への対応について

当社の子会社である岩井証券株式会社は、別紙の通り、平成 23 年 7 月 19 日(火)からの大阪証券取引所のデリバティブ取引時間延長に合わせて、同日より、日経 225 先物取引・日経 225mini・日経 225 オプション取引の取引時間を現行の午後 11 時 30 分から翌日の午前 3 時まで延長いたしますのでお知らせいたします。

以 上

平成 23 年 5 月 20 日

各 位

岩井証券株式会社
大阪市中央区北浜一丁目 8 番 16 号

大阪証券取引所「夜間立会(現在のイブニング・セッション)」の取引時間延長への対応について

当社は、平成 23 年 7 月 19 日(火)からの大阪証券取引所のデリバティブ取引時間延長に合わせて、同日より取引終了時間を現行の午後 11 時 30 分から翌日の午前 3 時まで延長いたしますのでお知らせいたします。

1. 大証「夜間立会(現在のイブニング・セッション)」の取引時間
(現行) 午後 4 時 30 分～午後 11 時 30 分
(7 月 1 9 日以降) 午後 4 時 30 分～**午前 3 時**
2. 取引対象商品
日経 225 先物取引、日経 225mini、日経 225 オプション取引
3. 大証「夜間立会(現在のイブニング・セッション)」対応営業チャンネル
インターネット取引

ニューヨーク証券取引所の取引時間は、日本時間で午後 11 時 30 分から午前 6 時(夏時間：午後 10 時 30 分から午前 5 時)までであり、今回の夜間立会(現在のイブニング・セッション)の取引時間延長により、ニューヨーク証券取引所の動きに合わせて取引できる機会が増えることとなります。

今後も、当社は、個人投資家の皆様の利便性を追求して参る所存です。

本件に関するお問い合わせ先
広報担当：06-4560-5801

以 上

株価指数先物・オプション取引の概要(インターネット取引)

手数料について

約定 1 単位毎に 525 円(消費税込)の手数料を頂戴いたします。(日経 225 先物取引)

約定 1 単位毎に 105 円(消費税込)の手数料を頂戴いたします。(日経 225mini 先物取引)

約定代金の 0.525%(ただし、最低 315 円。消費税込。)の手数料を頂戴いたします。(日経 225 オプション取引)

証拠金について

日経 225 先物取引、日経 225mini 先物取引、日経 225 オプション取引のご利用にあたっては、現金によって証拠金を預託し、その金額が当社所定の計算方法で算出される金額以上になるよう、毎日維持していただく必要があります。

・必要証拠金(=新規建するために必要な証拠金)

日経 225mini 取引	1 単位につきプライス・スキャンレンジ(1)の 1.2 倍(2)の金額×0.1 (100 円の位は切上げて適用します) 例えば、プライス・スキャンレンジが 51 万円である場合 51 万円×1.2×0.1=61,200 円 100 円の位を切上げて 62,000 円となります。
日経 225 先物取引	1 単位につきプライス・スキャンレンジ()の 1.2 倍の金額 (1,000 円の位は切上げて適用します) 例えば、プライス・スキャンレンジが 51 万円である場合 51 万円×1.2=612,000 円 1,000 円の位を切上げて 620,000 円となります。
日経 225 オプション取引(売建)	1 単位につきプライス・スキャンレンジ()の 1.2 倍の金額 (1,000 円の位は切上げて適用します)
日経 225 オプション取引(買建)	概算受渡代金のみ 概算受渡代金を証拠金に振替えていただく必要があります

(1) プライス・スキャンレンジ : 毎週第一営業日に見直しが行われ、変更があったときは翌週の第一営業日から適用されます。

(2) 指数またはプライス・スキャンレンジの変動状況により任意で必要証拠金額計算時のプライス・スキャンレンジに対する掛け目を変更できるものとします。

・所要証拠金(=建玉を維持するために必要な証拠金)

所要証拠金 =

(1)(単位数の大きいポジションの数量×必要証拠金) - ネットオプション価値総額

(2)SPAN証拠金額 - ネットオプション価値総額

(1)(2)の方法で算出した金額のうち、いずれか大きい金額

・受入証拠金(=取引終了後に建玉の値洗いをを行った結果、算出された証拠金)

受入証拠金 = 差入証拠金 ± (先物建玉の計算上の損益) ± (オプション建玉の受渡代金)

オプション買建玉の受渡代金は、発注時に証拠金から差引かれます。

受入証拠金よりも所要証拠金の方が大きいと証拠金不足です。

ネットオプション価値総額 = 買オプション価値の総額 - 売オプション価値の総額

ただし、ネットオプション価値総額 > 0 の場合は 0 とします。

買オプション価値 = ロングポジション × 清算値段 × 取引換算額(1,000 円)

売オプション価値 = ショートポジション × 清算値段 × 取引換算額(1,000 円)

SPANR とは、Chicago Mercantile Exchange が開発した証拠金計算方法で、The Standard Portfolio Analysis of Risk の略です。先物・オプション取引全体の建玉から生じるリスクに応じて証拠金額が計算されます。

レバレッジに関する事項

日経 225 オプション取引(買建てを除く)、日経 225 先物取引及び日経 225mini 先物取引のご利用にあたっては、証拠金を預託される必要がありますが、当該取引の額(想定元本)は、当該取引に必要な証拠金の額を上回るのが通常です。たとえば 100 万円の証拠金による取引の額が 1,500 万円分に相当する等、取引の額は、投資元本である証拠金の額の概ね十数倍程度からそれ以上となりますので、ご注意ください。(日経 225 オプション取引において、権利行使価格が 15,000 円の銘柄を 1 単位売建てた場合及び日経 225 先物取引において 15,000 円で 1 単位売建て若しくは買建てた場合又は日経 225mini 先物取引において 15,000 円で 10 単位売建て若しくは買建てた場合、その想定元本はいずれも 1,500 万円となります。)

元本毀損の可能性について

日経 225 先物及び日経 225mini 先物の価格は、市場での需給関係と対象の原資産である日経平均株価の騰落によって変動します。日経 225 先物及び日経 225mini 先物のお取引にあたっては、買付け又は売付けのタイミングとその後の需給関係や日経平均株価の騰落によっては、たとえば、買付価格を下回る価格で売付けせざるを得なくなり、損失が生じることがあります。(日経 225 先物及び日経 225mini 先物)

日経 225 オプションの価格は、市場での需給関係と対象の原資産である日経平均株価の騰落によって変動します。日経 225 オプションのお取引にあたっては、買付け又は売付けのタイミングとその後の需給関係や日経平均株価の騰落によっては、たとえば、買付価格を下回る価格で売付けせざるを得なくなり、また、オプションの売り手にあっては、買い手の権利行使を受けることにより、損失が生じることがあります。(日経 225 オプション)

元本超過損の可能性について

日経 225 オプション取引(買建てを除く)、日経 225 先物取引及び日経 225mini 先物取引のご利用にあたっては、売建て又は買建てされた銘柄について、その後当該銘柄の価格が上昇又は下落した場合、たとえば 100 万円の証拠金を預託されることによって、日経 225 先物を 15,000 円で 1 単位買建てた場合で、その後当該銘柄の価格が 13,500 円まで下落したときは、150 万円の損失が発生し、当初預託された投資元本である証拠金 100 万円を上回ることとなります。この場合、当初預託された証拠金は全額失われ、不足分についても別途お支払いいただくこととなりますので、ご注意ください。(オプションの売り手にあっては、日経平均株価の騰落による、買い手の権利行使を受けた場合にも、当初預託された証拠金の額を上回る損失が生じることがあります。)

岩井証券株式会社(金融商品取引業者:近畿財務局長(金商)第 335 号、加入協会:日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会)